

市町村合併 町長の本音は



川越光蔵議員

向を見るとき、合併に対する本音は。

議論を期待

町長

町民との対話の中で、合併に関する意見も多数聞いたが、賛否両論あり、この問題の難しさを痛感しているところである。今後、集落座談会等により、合併に関する情報提供を行い、住民から素直なご意見を伺っていく。今後の活動を通じて、住民論議が高まることを期待する。

合併特例法の期限までの残り時間を考えると、来年五月までには、方向性を示し、最終的には、アンケートなどで住民の意思を問う形になろうと

考えている。次に、任意協議会設置には、相手が必要であり、今は、設置する段階になりと認識している。合併特例法の期限も迫っているので気運の高まりを期待し対処していきたい。

鹿児島県が示した合併パターン

(本町関係分)

Aパターン



Bパターン



Cパターン



Dパターン

